



種足小だより

NO. 7 11月号
令和4年11月1日
在籍児童数136名

かけがえのない命、「また来年、遊んでね。」

校長 青木 久永

校庭のイチョウも黄色に染まり、北国からは初雪の便りが届く季節。列島に冬の訪れを告げるコハクチョウも飛来しています。木の上からは「ギチギチギチ」とモズの声が聞こえてきます。モズは小さな猛禽と言われ、カエルやバッタなどの獲物を木の棘に突き刺す「速贅（はやにえ）」で有名な鳥です。大きな声で鳴く縄張り宣言の鳴き声を「モズの高鳴き」と呼び、秋の風物詩になっています。

今年も残り2か月。向寒のみぎり、皆様いかがお過ごしでしょうか。10月8日の第2回資源回収では、PTAをはじめ種足地区の皆様には、多くの御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ感染者が減少する中、10月には5年稲刈り体験、6年加須市陸上競技会、1・2年遠足（向井千秋記念子ども科学館・さいたま水族館）・さつま芋掘り、4年加須市公立小・中学校児童生徒音楽会・サイエンススクール（加須未来館）・水の授業、全校で「わくわくモーモースクール」等の多くの行事を行うことができました。行事は事前の準備に多くの労力を要しますが、やり遂げた後は大きな達成感とともに、座学では得られない子供たちの確かな成長や変容を感じることが出来ます。

10月24日、「わくわくモーモースクール」（主催 全農埼玉県本部・埼玉県酪農教育ファーム推進委員会、共催 森乳業株式会社）では、本校にホルスタイン種の乳牛3頭（成牛1頭、子牛2頭）が来ました。人気の事業のため、何度も応募し続けた末、ようやく実現しました。幼小連携で騎西南幼稚園児も参加し、乳搾り体験、搾乳見学、バターづくり、子牛とのふれあい等を通じて、「食」と「命」のつながりや、乳牛を育てる酪農家の思い、牧場の仕事など、私たちの食を支える人々の思いを直接学ぶ経験ができました。この日の様子は、テレビ埼玉や新聞でも報道されました。

「命」と言えば、過日、落語家の六代目三遊亭円楽（72）さん、元プロレスラー・政治家のアントニオ猪木（79）さんが相次いで亡くなりました。余談ですが、私は学生の時、東京の新宿で参議院議員選挙の応援に来ていた猪木さんと握手したことがあります。手の甲が分厚く、「闘魂注入、お願いします！」と言うだけの根性はありませんでした。円楽さんは、楽太郎の頃からのファンで、人気番組「笑点」の大喜利は私も大好きです。笑点メンバー随一のインテリで毒舌、故・桂歌丸さんとの愛のある掛け合いには幾度も爆笑し、明日から生きる活力をもらいました。

復帰に向け懸命にリハビリに励む二人の姿をテレビで観ていたので、訃報を知った時は驚きとともにショックでした。人間誰しも不自由になった身体をカメラの前に晒すのはためられるのではないのでしょうか。往年の輝きを知るファンとしては、少し複雑な気持ちでした。二人の姿は「俺の死に様（ざま）をよく見ておけよ！」と言っているように感じました。御冥福をお祈り申し上げます。

「死に様」と似た言葉に「生き様」があります。「生き様」という言葉は、元々は「死に様」からの連想でできた言葉だそうです。人間は必ず死を迎えます。今は、日本人のおよそ8割が病院で亡くなる時代。核家族化が進み、新型コロナの影響もあり、家族など身近な人の臨終を看取る機会も少なくなりました。大切な人の最期に立ち会った経験があれば、たとえ小学生であっても、人に向かって安易に「死ね」「消えろ」等の暴言を吐くことはできないでしょう。匿名性を悪用し、SNS上に氾濫するこれらの心ない言葉の数々を目にするたび、そう思う気持ちが強くなりました。

本校の児童は、道徳科（「生命の尊さ」）、人権教育（「人間の尊厳・価値の尊重」「生命尊重」）、豊かな体験活動（「わくわくモーモースクール」ほか）等を通して、命の大切さについて学習しています。先日も3年生が道徳科で「6さいのはなよめ」を題材とした授業をしていました。その内容は、わが子が3歳で小児がんを発病、6歳で娘を亡くした父親による「いのちの授業」です。ある日、突然、子供は成長する存在から、死ぬかもしれない存在に。バラバラになる家族。闘病と育児のやり繰り。そして、3年間の闘病の末、必死の祈りも叶わず、娘はこの世を去る、という悲しいお話です。

小学校学習指導要領の「特別の教科 道徳」では、内容項目D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」で、[生命の尊さ]について次のように示されています。本校でも児童の発達の段階に応じて、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てています。

〔第1学年及び第2学年〕生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。

〔第5学年及び第6学年〕生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

先日、北門で登校指導をしていた時のことです。校舎の片隅に置いてある大きな青いタライ桶を数人の男子が囲んで、何やら話をしていました。何事かと思いきや近づいてみると、中には小枝や落ち葉が敷き詰められていて、ちょろちょろと何か動いています。正体はカナヘビ（小型のトカゲ）でした。子供たちが飼っている7匹をこれからどうしようか、と話し合っていたのでした。餌を食べないカナヘビが前日に1匹死んでしまったらしく、かわいそうなので自然に戻してやろうということになりました。子供たちはひと夏を共に過ごしたカナヘビを一匹ずつ優しく手に取り、自然に放しました。カナヘビたちは、元気よくうれしそうに草むらに消えて行きました。

「また来年、遊んでね。」どの子も声には出しませんが、みんな同じ気持ちで見送りました。学校・家庭・地域の皆様が共に力を合わせることで、思いやりのある心優しい子供たちが育っています。12月1日の期末PTAでは、全学級で人権教育の授業を保護者に公開する予定です。

【5年生稲刈り】

10月3日(月)、5年生とひまわり学級が稲刈りを行いました。学校応援団の石川さんにやり方を教わり、一生懸命頑張りました。稲穂と汗がキラキラ光っていました。



【6年生加須市陸上競技会】

10月4日(火)、加須市陸上競技会が加須運動公園にて開催されました。前日の陸上壮行会で力強い応援を受け、種足小学校の6年生一人一人が自分の最高の力を発揮しました。



【1・2年生遠足】

10月14日(金)、1・2年生が向井千秋記念子ども科学館(館林市)及びさいたま水族館(羽生市)に行きました。生き物とのふれあい、様々な体験活動を楽しみました。



【4年生音楽会】

10月20日(木)、4年生が加須市内小中学校音楽会で、「ありがとうの約束」を合唱しました。響きのあふれる素敵な歌声でした。



【3年生風の里自然観察会】

9月27日(火)、3年生が種足地域の「風の里公園」で水辺の生き物の生態について学習しました。



【わくわくモーモースクール】

10月24日(月)、種足小に成牛1頭と子牛2頭がやってきました。牛をさわって「あったかい」と感じる子供たち。「命」「食」の大切さについて学びました。子牛2頭の名前は、「きらら」「さくら」です。種足小のみんなでつけました。貴重な体験をさせていただいた皆さんに心より感謝しています。



11月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	火	教育の日、第2回いじめ撲滅月間(～10日)
2	水	加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会事業発表
3	木	文化の日
4	金	
5	土	
6	日	「教育の日」授業公開・加須市騎西銀杏祭での鼓笛発表
7	月	振替休業日
8	火	給食費等口座引落とし1回目
9	水	市内一斉防災避難訓練
10	木	騎西中学校職場体験①
11	金	〃 ②
12	土	
13	日	
14	月	県民の日
15	火	西武ライオンズ野球教室・給食費等口座引落とし2回目
16	水	150周年記念たねっとフェスティバル・第2回学校評議員会
17	木	
18	金	文化芸術巡回公演(風の子)
19	土	
20	日	
21	月	クラブ活動
22	火	1・2年フッ素塗布
23	水	勤労感謝の日
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	職員会議
29	火	校内持久走大会
30	水	校内持久走大会予備日

12月の主な行事予定

- 1日(木) 2学期末PTA、一斉漢字テスト
- 2日(金) 一斉計算テスト
- 5日(月) 委員会活動
- 9日(金) 学力検査
- 12日(月) クラブ活動
- 13日(火)～16日(金) B日課5時間授業
- 22日(木) 給食終了、大掃除
- 23日(金) 第2学期終業式

【校内持久走大会について】

11月29日(火) 2～3校時 ※予備日30日(水)

【距離】	騎西南幼稚園	年中	400m
	〃	年長	600m
		1・2年	800m
		3・4年	1000m
		5・6年	1300m



個々の目標に向けてがんばります!今年度は、騎西南幼稚園児も参加し、平成国際大学の陸上部が応援で一しょに走ります。本番までの体調管理の御協力をよろしくお祈いします。

